

一般社団法人日本鉱物科学会  
平成30年度(2018年度)第1回定例理事会 議事録

【1】招集年月日：平成30年(2018年)9月12日(理事会招集手続きは、全員の同意があり省略する。)

【2】開催年月日及び時刻：平成30年(2018年)9月20日(木)16時30分～18時00分

【3】開催場所：山形大学小白川キャンパス構内 基盤教育1号館131教室  
〒990-8650 山形市小白川町1-4-12

【4】理事総数および定数：総数22名，定足数12名

【5】出席理事数：22名(\*印の1名はWEB会議参加)

榎並正樹， 宮脇律郎，安東淳一， 阿部なつ江，井上 徹，大藤弘明，大和田正明  
鍵 裕之， 川本竜彦，河上哲生， 黒澤正紀， 辻森 樹\*，土屋範芳，富岡尚敬，  
中村美千彦，永井隆哉，永嶋真理子，長瀬敏郎， 伴 雅雄，森下知晃， 塚本尚義，  
吉朝 朗

【6】欠席理事数：0名

【7】出席監事：平島崇男

【8】オブザーバー：(理事以外の幹事，委員長，報告者)

出席：栗林貴弘会計幹事，磯部博志行事幹事，興野 純Elements幹事，佐藤 努特務幹事  
(会員増対策担当)，齊藤 哲地球惑星科学連合2019年度学会選出プログラム正委員，  
門馬綱一同副委員長，門馬綱一研究発表優秀賞選考委員会委員長，池田 剛2019年  
年会LOC委員長代理

【9】議事概要

榎並理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり，鍵 裕之理事が議長に選出された。  
鍵議長から，8月23日に理事会招集手続省略の同意依頼を行い，9月12日に理事22名全員の同意  
と監事の同意が得られたので，本日第1回定例理事会を開催することになった旨の報告があっ  
た。次に，22名全員の理事の出席(1名はWEB会議出席)を確認し，定款30条により理事会が成  
立したことを受け，理事会開会を宣言した。WEB会議ZOOMを利用し遠隔地から参加する 辻森  
樹理事が審議に参加することに問題ないことを確認して，平成30年度第1回定例理事会を開始  
した。

会議に先立ち，理事の互選で安東淳一理事が書記として選出された。

## I. 審議事項

### 第1号議案 会長及び副会長の選定（鍵議長）

鍵議長から、榎並正樹理事を会長(代表理事)に、宮脇律郎理事を副会長（代表理事）に選定することについて審議がなされ、全会一致を以て可決承認された。なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。任期は2020年定時総会終結の時までである。

### 第2号議案 幹事、各委員会委員長、委員承認（榎並会長）

榎並会長から以下の(1)から(21)までの幹事、各委員会委員について説明があり、承認された。なお、(14)から(20)の新規交代委員は、理事による選挙で後日選出することが承認された。

#### (1) 幹事会メンバー

会 長：榎並正樹(代表理事)

副会長：宮脇律郎(代表理事)

庶務幹事：中村 美千彦(理事)

会員幹事：河上哲生(理事)

会計幹事：栗林貴弘

行事幹事：磯部博志

和文誌編集幹事：長瀬敏郎(理事)

英文誌編集幹事：吉朝 朗(理事)

渉外幹事：森下知晃(理事)

広報幹事：大藤弘明(理事)

Elements：興野 純

特務幹事(細則等検討担当)：大和田正明(理事)

特務幹事(会員増対策担当)：佐藤 努

地球惑星科学連合2019年度学会選出プログラム委員：齊藤 哲(正)・門馬綱一(副)

地惑連合連絡担当：阿部なつ江(理事)

三鉱連絡委員：中村美千彦，磯部博志

#### (2) 行事委員会

委員長：役職指定 磯部博志 行事幹事

副委員長：片山 郁夫，池田 剛(2019年LOC委員)

委 員：湯口貴史，寺崎 英紀，鍵 裕之

#### (3) 岩石鉱物科学編集委員会

委員長：役職指定 長瀬敏郎 和文誌編集幹事

副委員長：高澤栄一

委 員：阿部なつ江，荒川洋二， 上原誠一郎， 遠藤俊祐， 大藤弘明， 掛川 武，  
木村純一， 興野 純， 久保友明， 栗谷 豪， 栗林貴弘， 小暮敏博，  
近藤 忠， 柴 正敏， 下林典正， 土谷信高， 中井 泉， 中村美千彦，  
永嶋真理子，西戸裕嗣， 野口高明， 濱田麻希， 林信太郎， 伴 雅雄，  
坂野靖行， 平島崇男， 藤縄明彦， 星出隆志， 牧野州明， 三宅 亮，  
宮原正明， 門馬綱一， 塚本尚義， 吉朝 朗

#### (4) JMPS編集委員会

委員長：吉朝 朗 英文誌編集幹事

副委員長：M. Satish-Kumar，永井隆哉

委員：伴 雅雄，榎並正樹，平島崇男，市山祐二，井上 徹，加藤丈典，河野元治，木村純一，小木曾哲，栗林貴弘，興野 純，松枝大治，三河内岳，門馬綱一，中村美千彦，小畑正明，大谷栄治，奥寺浩樹，大和田正明，佐藤 努，佐脇貴幸，篠田圭司，下林典正，杉山和正，角替敏昭，宇都宮聡  
Jung Ho Ahn, Richard J. Arculus, D. Chandrasekharam, Ming Chen, Moonsup Cho, Alexander Khanchuk, Anhuai Lu, Joseph R. Smyth

(5) 渉外委員会

委員長：役職指定 森下知晃 渉外幹事

委員：栗谷 豪(火山)，辻森 樹(地質)，井上 徹(高压)，永島真理子(鉱物)，宇都宮聡(環境)

(6) 広報委員会

委員長：役職指定 大藤弘明 広報幹事

委員：梶谷 浩，齊藤 哲，石橋秀巳，濱田麻希，中村美千彦(庶務幹事)

(7) Elements 委員会

委員長：役職指定 興野 純 Elements幹事

副委員長：森下知晃

委員：片山郁夫，宇都宮聡，井上 徹，鍵 裕之，寺崎英紀，橘 省吾，横山 正，瀬戸雄介，中野伸彦，奥村 聡，門馬綱一(サイエンスボード)

Society News Editor：興野 純

Executive Committee Member：榎並正樹会長

役職指定委員：中村美千彦(庶務)，長瀬敏郎(GKK)，吉朝 朗(JMPS)，磯部博志(行事)  
森下知晃(渉外)，大藤弘明(広報)

(8) 新鉱物・命名・分類委員会

委員長：門馬綱一

委員：上原誠一郎，小林祥一，清水正明，浜根大輔，坂野靖行，豊 遙秋，松原 聡，宮脇律郎

(9) 教育普及委員会

委員長：林信太郎

委員：貴治康夫，宮嶋 敏，川手新一，長瀬敏郎(理事)

(10) 博物館委員会

委員長：坂野靖行

委員：宮脇律郎，長瀬敏郎，森 康

(11) 櫻井賞選考委員会

委員長：松原 聡

委員：中井 泉，清水正明，宮脇律郎，坂野靖行，宮島 宏

(12) 研究発表優秀賞選考委員会(10名)

委員長：門馬綱一(2期目)

副委員長：越後拓也(1期目)

委員：1期目新規委員(5名)：越後拓也，境 毅，辻森 樹(理事)，長瀬敏郎(理事)，興野 純  
2期目継続委員(5名)：門馬綱一，坂巻竜也，三河内岳，三宅 亮，齊藤 哲

(13) 2019年年会運営委員会

2019年年会運営委員会：小山内康人委員長

委員：池田剛(責任者，副行事委員長)，桑原義博，仙田量子，中野伸彦，足立達朗，寅丸淳志，

久保友明，上原誠一郎，宮本知治，宇都宮聡，渡邊公一郎，野口高明  
磯部博志行事委員長，片山郁夫副行事委員長

(14) 将来企画委員会

委員長：役職指定 宮脇律郎（副会長）

副委員長：今後委員の中から委員長指名

委員：理事による選挙（9名選定），オブザーバー：榎並正樹(会長)

(15) 細則等検討委員会

委員長：役職指定 大和田正明 特務幹事細則等検討担当

委員：理事による選挙（4名選定），オブザーバー：宮脇律郎副会長

(16) 日本鉱物科学会賞選考委員会（構成委員11名のうち，1名は会長）

委員 11名：理事による選挙10名選定，1名は榎並正樹会長。

(17) 渡邊萬次郎賞選考委員会（構成委員8名(うち2名は理事)，半数交代）

委員長:下林典正（2期目）

副委員長：( ) →1期目の新委員から委員長が指名する。

委員：(2期目継続委員4名)：大和田正明(理)，下林典正，平島崇男(理)，宮脇律郎(理)

(1期目委員4名選出)：(理事による選挙)

(任期満了) 上原誠一郎，土谷信高，宮島 宏(委員長)，吉朝 朗

(18) 日本鉱物科学会論文賞選考委員会（構成委員10名(内2名は理事) 半数交代）

委員長：河上哲生(2期目)

副委員長：( ) →1期目の新委員から委員長が指名する。

委員：(2期目継続委員5名)：榎並正樹(理)，河上哲生(理)，川本竜彦(理)，高澤栄一，三河内岳

(1期目委員5名選出)：(理事による選挙)

(任期満了) 阿部なつ江，井上 徹，中村美千彦(委員長)，永嶋真理子，平島崇男

(19) 日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会(構成委員10名(内2名は理事)，半数交代)

委員長：奥村 聡（2期目）

副委員長：( ) 1期目の新委員から委員長が指名する。

委員：(2期目継続委員5名)：大藤弘明(理)，奥村 聡，河上哲生(理)，森下知晃(理)，門馬綱一

(1期目委員5名選出)：(理事による選挙)

(任期満了) 井上 徹，鍵 裕之，黒澤正紀，下林典正，三河内岳 (委員長)

(20) 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会 構成委員10名(うち2名は理事)，半数交代)

委員長：門馬綱一(2期目)

副委員長：( ) 1期目の新委員から委員長が指名する。

委員：(2期目継続委員5名)：佐藤 努，長瀬敏郎(理)，宮脇律郎(理)，門馬綱一，吉朝 朗(理)

(1期目委員5名選出)：(理事による選挙)

(任期満了) 上原誠一郎，黒澤正紀，小暮敏博，鈴木正哉(委員長)，永井隆哉

(21) 各WG委員

1) 会員区分等検討WG委員(役職指定交代)

委員長：佐藤 努特務幹事(会員増対策担当)，副委員長：河上哲生会員幹事

委員：榎並正樹会長，宮脇律郎副会長(将来企画委員長)，中村美千彦庶務幹事，  
栗林貴弘会計幹事，大和田正明特務幹事(細則等検討担当)，濱田麻希，貴治康夫

- 2) 会計問題WG(仮称)委員(第3回理事会でWG設置が承認され今後将来企画委員会での委員選任)  
委員長：井上 徹(理事)

#### 第3号議案 新入会承認(河上会員幹事・理事)

学生会員2名(記載省略)の入会申込書が回覧され、異議なく入会が承認された。

#### 第4号議案 研究部会「岩石 - 水相互作用」の設置について(代表者土屋理事)

土屋理事から第五期(2018年10月1日～2020年9月30日)研究部会「岩石 - 水相互作用」設置設立趣意書の説明があり、異議なく承認された。

#### 第5号議案 2020年年会開催地とLOC委員長の件(榎並会長)

榎並会長から2020年年会開催地として東北大学の提案があり、運営委員長として土屋範芳理事の承諾を得たので、異議なく承認された。

#### 第6号議案 ガイドラインの改正の件(長瀬理事, 説明門馬委員長)

長瀬理事より提案があった、「研究発表優秀賞の選考ならびに海外渡航支援制度に関するガイドライン」内の「2名以上は理事とする」の規定について、門馬委員長から理事2名の選定が難しいので削除をお願いしたいと説明があり、異議なく承認された。

#### 第7号議案 「岩石・鉱物の日」制定の件(宮脇副会長)

第2回理事会でWG設置が承認されてから第3回理事会まで未設置で継続審議となっていた「岩石・鉱物の日」制定について、宮脇副会長から1)「岩石・鉱物の日」を制定すること、2)学会の活動を公開しながら制定を目指すWGを立ち上げることに説明があり、承認された。

#### 第8号議案 旅費規程設定の件(大和田細則等検討幹事・理事)

大和田細則等検討幹事・理事から提案について説明があり、「定年を迎えた理事、会長、副会長、監事が理事会等へ出席するための交通費の支給」に関する議論開始を細則等検討委員会に諮問することが承認された。

#### 第9号議案 第2回理事会, 第3回理事会, 総会開催日の件(中村庶務幹事・理事)

中村庶務幹事から提案についての説明があり、質疑応答の後、以下について承認された。

- 1) 2018年度第2回理事会は、2019年5月25日(土)午後に東京大学(担当鍵理事)にて開催する。
- 2) 2018年度第3回理事会開催日は、2019年8月28, 29, 30日のいずれかから、2019年5月25日の第2回理事会で決定する。
- 3) 2018年度定時総会は、2019年9月21日(土)午前中に九州大学にて開催する。

#### その他の議案

##### (1) 共催依頼の件

榎並会長より、益富地学会館主催『石ふしぎ大発見展』における『国石』の特別展示会共催依頼の説明があり、共催が承認された。なお、この様な費用などの負担の無い共催などの申請依頼は、庶務幹事が担当であるため、今まで通り庶務幹事が対応して回答することを再度確認した。

## (2) 学会運営年度表記変更の提案

榎並会長より、元号改正による今後の学会運営年度の「年度表記」について、元号は使用しないで、西暦で統一することの提案があり、承認された。新年度平成30年度(平成30年8月1日～平成31年7月31日)の表記は、2018年度(2018年8月1日～2019年7月31日)となる。

## II. 報告事項

会長・副会長の職務執行報告(榎並会長・宮脇副会長)

各業務は各担当者に一任されていることから、会長、副会長より個別の報告は特になく、各担当者から以下の報告がなされた。

### 1. 各幹事，委員会，研究部会報告

#### (1) 第1回定例理事会前開催の委員会報告

GKK編集委員会報告(長瀬委員長・理事)

長瀬委員長から、平成30年9月19日(木)12:00～12:30に山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館132教室で開催されたGKK編集委員会の内容について報告があった。

- 1) 編集状況報告：印刷状況は47巻3号を10月末発行予定。原著論文1編，資料1編，フィールド紹介1編，追悼文など掲載予定。現在査読中論文は1編で受理論文は無し。
- 2) 編集委員の交代：定年による委員の退任(総会終了までで退任)は石渡明，長谷中利昭，林謙一郎，宮島宏，村田守の5名の委員。後任の新委員に遠藤俊祐(島根大学)会員。
- 3) 会計赤字を軽減する方策や投稿論文を増やす方策としてGKK委員会でも提案審議され、以下4件について継続審議となった。1) 電子ジャーナルpdf論文のカラー費用著者負担の件。2) GKKの将来を鑑み、研究者以外の一般読者を想定した論文(記事)掲載の検討。3) 別刷50部の無料配布廃止。4) JMPSと同じ投稿規定(論文のフォーマット)に変更への検討。

JMPS編集委員会報告(吉朝委員長・理事)

吉朝委員長から、平成30年9月19日(木)12:30～13:30に山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館132教室で開催された、JMPS編集委員会の内容について報告があった。

#### < 報告事項 >

##### 1. JMPS状況報告

- (1)投稿数状況：2018年は1月7件，2月2件，3月3件，4月5件，5月4件，6月2件，7月6件，8月2件，9月4件で、9月までの合計は35件。(2) 発行状況：平成30年度年度発行状況：113巻2号(4月号)，3号(6月号)，4号(8月号)9月9日WEB公開，9月14日冊子発送，今後の発行予定：113巻5号(10月号)掲載6論文予定 (3) 編集状況：査読状況(2017年8月1日～2018年7月31日)投稿50件，うち受理(15件)，査読中(8編) 返却中(8編) 取り下げ(2編)，Reject(17編)。(4) 2017 JMPS Impact Factor: 1.030(2016 0.409, 2015 0.648, 2014 0.742, 2013 0.656, 2012 0.589)であった。
2. 2018年年会講演を対象にLetterを募集中のお知らせ：スケジュールは投稿申込締切日：2018年10月10日(水) 締切日厳守，原稿提出締切日：2018年11月19日(月) 締切日厳守。

#### < 審議事項 >

1. 編集長・編集委員の交代について。以下の3名が編集委員会で承認された。
  - 1) 委員長の交代：平島崇男委員長から吉朝 朗副委員長へ交代

- 2) 副委員長の交代：吉朝 朗副委員長から永井隆哉委員へ交代
  - 3) 委員の辞任：藤本光一郎，林謙一郎，石渡 明各委員から辞任の希望があった。
2. 会計赤字を軽減する方策がJMPS委員会でも提案審議され，以下の2つが継続審議となった。
- 1) 投稿論文数を増やす方策である，英文校閲をしない著者に適用しているページチャージ30%割引の割引率を，15%-20%程度に減額する案．
  - 2) 電子ジャーナルPDF論文のカラー費用著者負担の件。

#### IMA小委員会報告（大谷委員長代理：宮脇副会長）

宮脇副会長から大谷委員長に代わって，平成30年9月19日(水) 17：00-18：00山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館131教室で開催されたIMA小委員会について，以下の様に報告された。

IMA総会の報告，今後のIMA対応，地球科学の夢ロードマップ，大型研究計画について，鉱物科学における人材育成。

#### 将来企画委員会報告(宮脇委員長)

宮脇委員長から平成30年9月19日(木) 18：00-19：00山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館131教室で開催された旧委員による将来企画委員会について，継続審議の確認が行われたことが報告された。

また，宮脇委員長から，各委員選挙の際に委員候補者の提示について提案があり，大和田理事からも，選挙にあたっては継続審議事項を十分に把握している委員の選出が必要ではないかとの指摘があり，重要な知見であることから，委員選挙時には，前委員名を明示した上で記名投票を行うことが了承された。

#### (2) その他委員会，幹事報告

##### 会員幹事（河上会員幹事）

河上会員幹事から就任の挨拶があった。報告事項は特になし。

##### 会員増対策特務幹事（佐藤特務幹事）

佐藤特務幹事から，本日の定時総会でシニアの会員減の短期的方策として，シニア会員が希望すればElementsを送付しないが会費を割引く議案が承認されたことが報告された。この実施は2019年8月1日からとなる。今後は以下の長期的実施事項について，会員区分等検討WGで継続審議していくことが報告された。

1. 会員増に向け，情報収集と議論を行い，下記の提案をする。以下、アンケート実施も含めて，今後も努力を進めてゆく。
  - ・ 中堅会員に対して，関連学会員との共通あるいは深く係るテーマのシンポジウム等を頻繁に行い，会員増を図る。鉱物学周辺研究領域の方にも参加してもらえる方策を考える。
  - ・ 若手会員に対して，学生会員の卒業後の定着に向けて，学生会員並みの会費で，アカデミアではなく情報収集を中心とし，サービスを落とした準会員等の会員制度も考えられる
  - ・ 高校教員や高校生の積極的な参加を図る。会費の配慮が必要。
  - ・ 鉱物や岩石のマニアの参加について議論した。前向きな意見とそうでない意見があった。
2. Elementsの配布の差別化を図り，会計上の余裕を調査した結果，会員の差別化に前向きな意見があった。

#### 広報幹事報告（大藤広報幹事）

大藤広報幹事から就任のあいさつと広報委員会委員の紹介があった。

今後の会員増に向けた広報活動として、1)SNSの配信強化、2)毎年参加しているJpGU会場での学会ブース展示の際に、現在無料のオプションとなっていて、過去に1度実施したショートセミナーを、鉱物学の魅力を伝えるために高校生が多数参加する日曜日に毎年継続したいと報告があった。

#### 渉外幹事報告（森下渉外幹事）

森下渉外幹事から就任の挨拶と渉外委員会委員の紹介があった。

#### Elements幹事報告（興野Elements幹事）

興野Elements幹事から就任の挨拶とElements委員会委員の紹介があった。

#### JPGU2019年度学会選出プログラム委員報告（齊藤JpGUプログラム委員）

齊藤JpGUプログラム委員から以下の通り報告があった。

例年通り、資源地質学会・日本地質学会と共同で、JpGU 2019のセッション『岩石・鉱物・資源』の提案を行った。またJpGU2018より、学協会セッションはセッション提案とは別に、学協会のプログラム委員が登録することとなり、2つのセッション(『岩石・鉱物・資源』、『鉱物の物理化学』)を承認した。JpGU2019についても同様の予定である。

#### 地惑連合報告（阿部JpGU連絡担当，理事）

阿部地惑連合連絡委員から7月31日開催のJpGU理事会開催の報告があった。1) 教育の強化、2) 国際化(AGUとの連携強化)、3) ダイバーシティの推進とハラスメント問題、4) 大会講演の不採択理由の改訂、5) PEPS科研費不採択による財政問題と寄付依頼など。

#### 学術会議報告(大谷連携委員欠席)

特に報告事項はなし

#### 新鉱物・命名・分類委員会報告(門馬委員長)

特に報告事項はなし

#### 教育普及委員会報告（林委員長）

特に報告事項はなし

#### 博物館委員会報告(坂野委員長)

特に報告事項はなし

#### （3）研究部会報告：研究部会「岩石 - 水相互作用」(土屋代表)

土屋代表から以下の様に研究部会の活動報告があった。

研究部活動内容：年会におけるセッション企画，情報交換

活動実績：鉱物科学会におけるスペシャルセッションの開催



セッション開催趣旨：岩石 - 水相互作用」に関わる分野横断的な研究発表，情報交換を推進すべく，「みず」をキーマテリアルにして，地殻流体のキャラクタリゼーション，変成岩，火成岩との反応プロセス，熱水変質，鉱床，熱水実験，さらに流体の発生や移動プロセス，地殻内での流体の存在形態など基礎理論と実験に関する講演を広く募集する．研究の方法も，野外観察，実験，数値計算，モデリングなど多様な発表を期待し，地球プロセスにおける「みず」の役割を学際的に検討する。

28年度年会（金沢）口頭発表12件，ポスター発表10件，  
29年度年会（愛媛）口頭発表12件，ポスター発表5件，  
30年度大会（山形）口頭発表11件，ポスター発表4件。

研究部会設置期間：

第一期平成19年10月1日～平成22年9月30日，  
第二期平成22年10月1日～平成25年9月30日，  
第三期平成25年10月1日～平成28年9月30日，  
第四期平成28年10月1日～平成30年9月30日。

## 2．2019年,2020年年会開催準備報告（磯部行事幹事，池田LOC委員）

池田LOC委員より九州大学での年会開催について以下の報告があった。

### 1) 2019年年会開催地(九州大学)の状況報告

1. 年会開催日：2019年9月20日(金)～22日(日)の日程を確認
2. 現地運営委員会メンバー 以下のメンバーを承認  
小山内康人（九大・比文）（委員長，○責任者）  
桑原義博，仙田量子，中野伸彦，足立達朗（以上九大・比文），  
寅丸淳志，久保友明，上原誠一郎，○池田剛，宮本知治，宇都宮聡（以上九大・理），  
渡邊公一郎（九大・工），野口高明（九大・基幹）
3. 巡検実施の有無 ポスト巡検を一泊二日の日程で計画（渡邊）  
「鯛生金山地底博物館」と「八丁原地熱発電所」
4. 役割分担について 以下の役割分担を承認  
・実行委員長 小山内，・連絡調整 池田，・会計 久保，・会場 中野，足立，桑原，寅丸  
・物品調達 中野，足立，桑原，・休憩室 仙田，・案内 仙田，・懇親会 宮本，渡邊  
・アルバイト 上原，・企業展示業者 野口，・渉外（昭和バス）宇都宮，・巡検 渡邊
5. 会場について  
全ての行事（総会，年会，懇親会）をイーストゾーンで実施する。
6. その他  
懇親会会場候補 9/21に，中央図書館屋上の「ビッグスカイ」（宮本）  
ポスター会場候補 E-C とE-B の1階のスペース（足立）  
ポスターボード調達 イーストと椎木に問合せ（足立），不可なら理生命科学（宮本）  
高標本の見学 ポスト行事として博物館に打診（上原）

### 2) 2020年年会開催方法検討報告（磯部）

他団体と検討段階にないため，報告がなかった。

## 3．その他

大和田理事より『台風と地震により，地質学会年会が2年続けて会期中に中止となった』ことを教訓として，「鉱物科学会も不測事態を想定した対応策を事前に策定しておくべきではないか」，との

提案があった。これを受けて、榎並会長から自然災害時の対応について、「基本的には学会開催の可能性は現地LOCの意向を最優先するが、当然、学会が全責任を持つ体制が重要である」、との意見があった。今後、他学会を参考にして具体的な内容（災害でキャンセルされた発表の対応や参加登録費など）について策定し、2019年5月の理事会に議案として提出することとなった。

## 【10】閉会

以上の議事を終え、18時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

平成30年9月20日

会 長 榎並 正樹 印

副会長 宮脇 律郎 印

監 事 平島 崇男 印